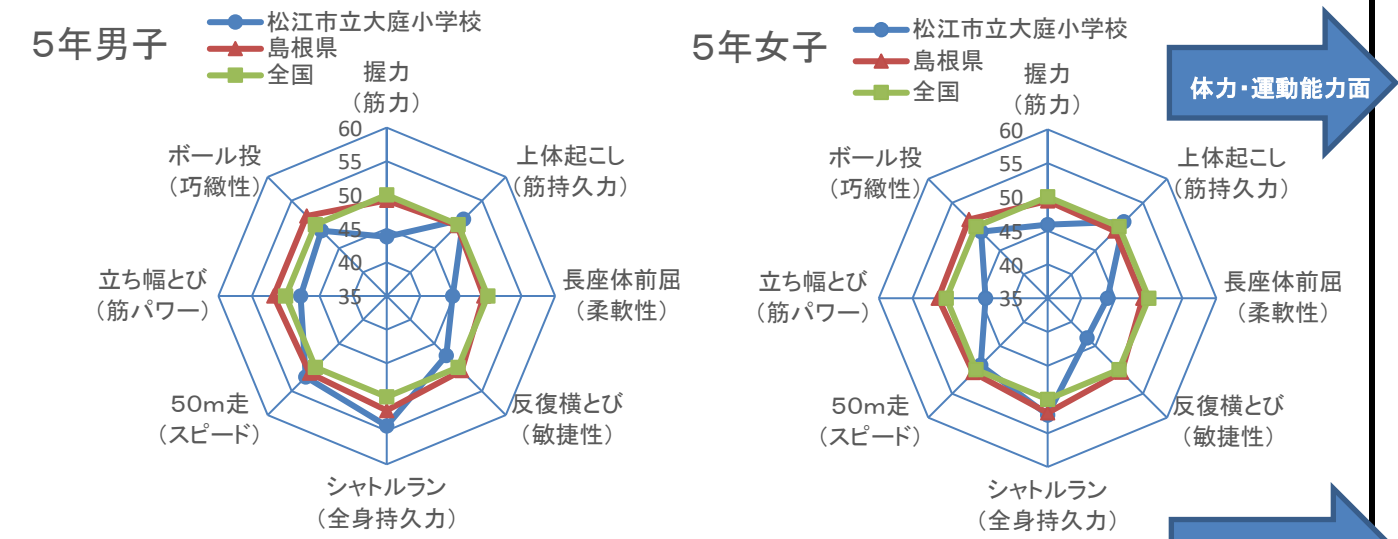
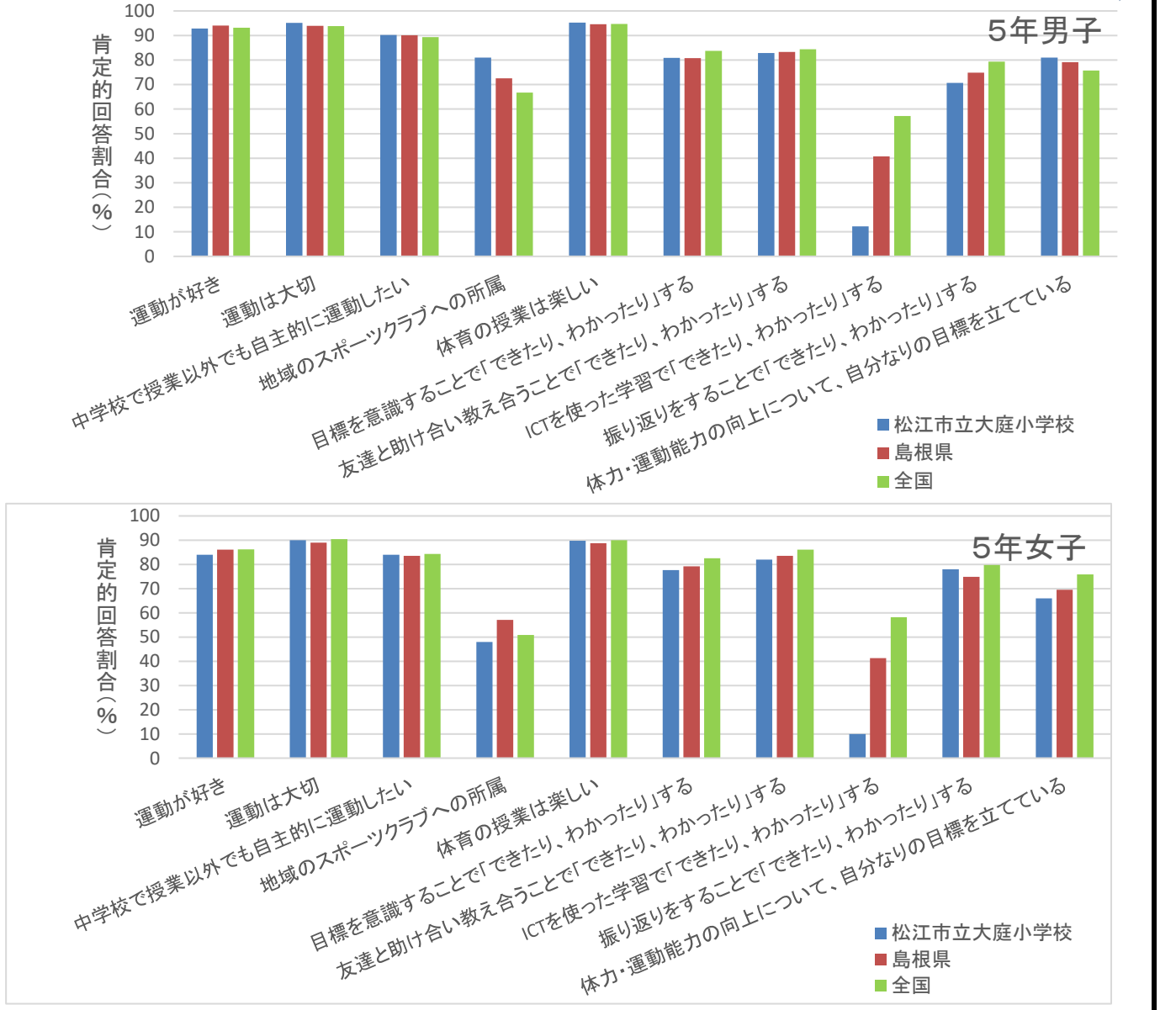


(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-6.2	1.1	-5.2	-2.5	4.3	2.0	-2.2	-1.3
女子	-4.1	1.0	-6.1	-6.7	2.3	-1.0	-5.8	-1.1

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	-0.3	1.4	0.9	14.3	0.6	-2.8	-1.5	-45.0
女子	-2.2	-0.4	-0.3	-2.9	-0.2	-4.9	-4.1	-48.2
	振り返りをする ことで「できたり、 わかったり」する	体力・運動能力 の向上について、 自分なりの目標 を立てている						
男子	-8.7	5.3						
女子	-1.8	-9.9						

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和7年度の方針【学校全体での取組】

- 学校全体での取り組み ●→今年度の課題 →令和7年度の方針
- 腕支持運動を取り入れた準備運動や、鉄棒運動を取り入れた準備運動を実施し、学校に共有したことで、鉄棒や跳び箱を安定して回転・跳躍できるようになった児童が見られた。また、4年生の逆上がりの達成率は昨年より増加している。
 - スポーツ委員会で全校遊びのイベントを企画し、全校の半数以上の児童が参加した。普段外に出て体を動かさない児童も、外で体を動かしていた。
 - 縄跳び運動では、学年にあった記録カードを活用することで、指導に生かすことができた。また、児童が休み時間に意欲的に取り組む姿も多く見られた。
 - 体力・運動能力調査において、ほとんどの種目で県の平均を下回った。
特に、握力・反復横跳び・ソフトボール投げ・立ち幅跳びは全学年とも県平均を下回ったため、本校の大きな課題であると考えられる。
 - 季節の影響もあるかもしれないが、外で遊ぶ児童が以前より少なくなっている。
- 〈来年度に向けて〉
- ・体力・運動能力調査の分析で出た本校の実態を踏まえた、体育に関する校内研修や授業づくり研修などを行う場を設定することで、校内全体で体育の授業の質の向上に努めていきたい。
 - ・児童が外で遊びたくなくなるような活動や仕組み作りを行っていきたい。